

特別警報・警報・注意報発令時の対処について

福岡県立行橋高等学校

令和5年6月29日

(1) 暴風・大雨・洪水

		授業等	登校前	在校時
特別警報	暴風 大雨	授業中止	①行橋市または、在住地に <u>午前6時の時点</u> で特別警報が発令された場合は自宅待機とする。 ②授業の再開等については学校HPおよび、39メールにて案内を行う。	①安全を確認した後、下校させる。 【確認事項】 ・交通、道路情報の確認 ・保護者引き取りの確認 ・集団下校者の確認
警報	暴風 台風 接近 等	授業中止 状況により 平常授業	① <u>午前6時の時点</u> で発令されている場合は午前11時まで自宅待機する。 ② <u>午前11時の時点</u> で警報が解除されている場合は、午後の授業に間に合うように登校する。 ただし、その後の気象情報や地域の実情等を家族と横断し安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡して自宅で待機する。安全に登校することが確認できた場合は状況を見て登校する。	・自転車通学者の安全指導 ・下校途中で帰宅不能になった場合の対処方法 ②安全に下校することが困難な生徒については、保護者と連絡をとり、適切な対処をする。
	大雨 洪水	平常授業	①その後の気象情報や地域の実情を家族と相談し、安全に登下校できることを確認したうえで登校する。	①その後の気象情報や地域の実情に応じ、下校させることもある。 ②安全に下校することが困難な生徒については、保護者と連絡をとり、適切な対処をする。
注意報	大雨 洪水	平常授業	②安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡して自宅で待機する。その後の状況を見て登校する。	
備考	警報が発令されていなくても、公共交通機関が途絶している場合は自宅待機とし、復旧後安全に登下校できることを確認して登校すること。			

(2) 大雪

大雪のおそれがあるときは気象情報等から判断し、前日の終礼までに授業実施等について連絡する。

(3) 落雷・竜巻

真っ黒い雲が近づくなど落雷や竜巻の予兆に気付いたら、しかるべき対処を行う。

屋外にいる場合は速やかに屋内へ避難する。屋内にいる場合は、飛来物や窓ガラス等の破損に備えて避難姿勢をとる。

※ 発生の都度、最適な判断を下し、文書（39メール）あるいはHPで、保護者・生徒に正確に伝える。